

平成29年4月1日

会員各位

協会だよりー292(4月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)
触媒資源化協会

トピックス：

- 使用済触媒・使用済レアメタル2016年資源化実績を編集中です。4月中旬には冊子をお送りする予定です。
- 第42期定期総会(5/12開催)の議案書送付予定(4/20)
- 資源化協会OB会は4月24日(月)17:00よりちくりん神田で開催します。
- 春季協会コンペは4月26日(水)厚木国際カントリー倶楽部で開催します。



カレッタ汐留(46F)より浜離宮恩賜庭園を望む

- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
- 二. 会員の近況
【予定事項】
- 三. 協会の近況報告
- 四. 事務局より(四月度の予定)
- 五. 【雑学】町田市の境界を巡る10-goal
(淵野辺駅〜町田市役所)

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① **協会だよりー291(3月号)**をメール&郵便で送信(2/28)
- ② 第一回広報委員会
日 時：3月2日(木)17:00～
場 所：ジョンソンマッセイジャパン(合)
出 席：広報委員(JMJ, JX 金属、川研ファインケミカル)、専務理事
議 題：協会ホームページの作り直しを役員会へ提案、他
- ③ 第二回役員会
日 時：3月14日(火)13:00～15:00
場 所：JX 金属(株)会議室
出 席：会長・副会長・会計・理事・監事・専務理事

議 題：事務所の移転、専務理事の交代、HPの大更新、総会に向けて、他

[予定事項]

- ① 第一回調査・技術委員会
日 時：4月5日15時30分～
場 所：日興リカ(株) 会議室をお借りして
出 席：調査・技術委員（エヌ・イーケムキャット、日興リカ、太陽鋳工、キンキメタル産業、アジア物性材料）、専務理事
- ② 平成28年度会計監査
日 時：4月17日（月）16時00分～17時00分…予定
場 所：太陽鋳工(株)会議室をお借りして
出 席：蔭佐 仁監事、西野正人監事、牧 恵子会計、小林尚道専務理事
備 考：平成28年度の収支、現金・預金残高の監査等。
- ③ 第35回JSCRA会（協会ゴルフ大会）の開催
日 時：平成29年4月26日（水）8：30集合
場 所：厚木国際カントリー倶楽部
参 加：5組（17名）

2. 会員の近況

【退会】

● **株式会社フルヤ金属殿（3月31日付）**

平成23年5月30日に入会以来約6年加入しておりましたが、会社の諸事情により3月31日を以て退会する旨の退会届が2月9日提出されましたのでお知らせいたします。

【担当者の変更】

● **株式会社アサカ理研殿（3月2日付）**

佐藤 剛殿（営業本部営業企画部海外・新規営業 Gr. Manager
⇒伊藤貴弘殿（貴金属事業部営業部営業 2Gr. Gr 長補佐

3. 協会の近況報告

① 事務局の移転について

ニュー新橋ビルの6階601-Aの共同オフィスが6月末を以て閉鎖すると大家さんの(株)東京商工センターより通達がありました。そのため協会役員会を開催し協議の結果、尾沼理事に事務所移転先選択の業務を一任し、尾沼理事の努力の結果、JR新橋駅東口にある「新橋駅前ビル1号館」の貸事務所（(株)長谷工コミュニティが管理運営）に移転することになりました。住所は次の通りです。

（現）〒105-0004 東京都港区新橋 2-16-1 ニュー新橋ビル 601A

（新）〒105-0004 東京都港区新橋 2-20-15 新橋駅前ビル1号館 601

現在、保証金の支払いは終わり、新規電話の設定等、新事務所の運営体制が整い次第、移転先の事務所で開業となります。しかし業務の関係上、早くても5月の連休明けの移転先での勤務を予定しており、4月一杯は現事務所での勤務とな

ります。場合によっては定期総会後の移転になるかも知れませんが、よろしくお願ひいたします。

② 資源化実績冊子の発行について

4月5日(水)に調査・技術委員会で原稿を精査し、委員会でOKが出たら印刷用原紙を作成致します。その後印刷会社に原稿を持ちこみ、〇〇日頃の出来上がりになります。第42回定期総会の議案書発送に間に合えば同封する予定でおりますのでよろしくお願ひいたします。

③ 協会ホームページのリニューアルについて

現在の協会ホームページは平成17年に作成公開されました。約12年が経過、現状のITの進歩からは大幅に遅れが見られ、現状更新作業にも困難さを感じるようになりました。現在のHPを保守してもらっているマーベリック社からもリニューアルを提案され、現担当の広報委員会（委員長：尾沼涼氏）で協議されました。リニューアルには費用（約50万円）が必要なこと、保守管理費（月額3万円、1年で36万円＋税）がかかりますので役員会で審議した結果、この件の業者検討、リニューアル内容の検討を尾沼理事に一任いたしました。



4. 事務局より（4月度の予定）出勤予定：13日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
×	× (午後M) 歴歩会委員会	○	○ 調査・技術委員会	△ (午前) × (午後)	× (W) 歴歩会・栃木	× (L) 民権資料館
9	10	11	12	13	14	15
× (M) 自治会総会	× (G) asaka PG	○	× (cooking) △ (16時～)	○	×	×
16	17	18	19	20	21	22
×	○ 会計監査	○	× (G) Ashigara 森林	○ 議案書発送	×	×
23	24	25	26	27	28	29
×	○ 協会OB会	○	35回 JSCRA 会 Atsugi kokusai	○	○	×
30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6
×	×	×	× 憲法記念日	× みどりの日	× こどもの日	×

5. 【雑学】町田市の境界を巡る10. (淵野辺駅～町田市役所)

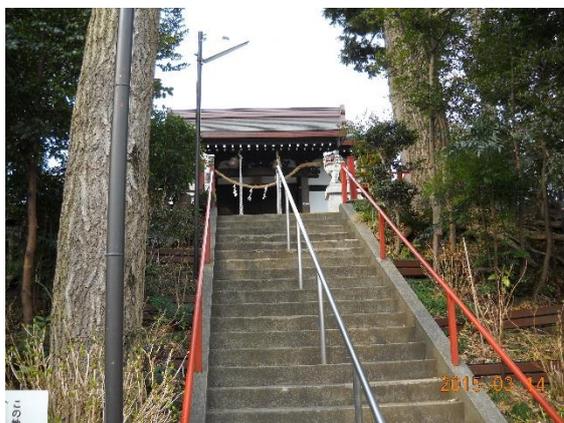
前回の境界は境川の共和橋より多少下流で終了したが、今回(いよいよ最終)は、主に境川の右岸(相模原市側)大野北地区にある神社仏閣を訪問しながらゴールの町田市役所へ向かうハイクとなる。スタートのJR横浜線淵野辺駅(神奈川県相模原市中央区淵野辺三丁目)は町田駅を出発し古淵駅、淵野辺駅となる。地図で確認すると淵野辺駅北口より境川の宮前橋辺りまで直線でも約1000mの距離があるようだ。今日訪問する概略のコースを説明すると、



JR 横浜線淵野辺駅(start)⇒日枝神社⇒延命地蔵⇒淵辺義博居館跡⇒八王子千人同心旧家⇒皇武神社⇒龍像寺(岡野氏一族の墓)⇒鹿嶋神社⇒大日堂⇒旧河川跡⇒妙延寺⇒町田市役所(goal)となる。

淵野辺駅北口を出て、境川の宮前橋方面へ暫く歩むと高台に山王日枝神社が現れる。

《山王日枝神社》相模原市中央区淵野辺本町 1-36-16



神社の掲示板説明によると、第94代後二条天皇徳治2(1307)年、大將軍久明親神王執権北条貞時が僧となり、淵野辺に遊歴し、官吏の善悪賞罰を正したという。境川には、この地の住民を困らせていた大蛇がいた。貞時は小高い丘(現神社)に山王大権現を祈願し、淵辺義博に大蛇退治を命じ義博が大蛇を退治した話が伝わっている。祭神は大山咋神(おおやまくいのかみ)、大鳥連祖神(おおとりむらじのかみ)、飯

綱大神(いづなおおかみ)である。八岐大蛇退治ではないが、蛇行して氾濫する境川の治水工事が大蛇退治の謂れではなかろうか。

《延命地蔵》相模原市中央区淵野辺本町 2-37



延命地蔵の起源は鎌倉時代にさかのぼると言われている。新生児の生命を守るなど所願

を叶えてくれることで信仰を集めている。隣にお稲荷様、珍しい2体3面の6地蔵等の石仏がある。六地蔵とは？辞書によると、六道において衆生の苦しみを救うという六種の地蔵菩薩。すなわち、地獄道を救う檀陀だんだ、餓鬼道を救う宝珠、畜生道を救う宝印、修羅道を救う持地、人道を救う除蓋障、天道を救う日光の各地蔵の総称。また、延命・宝処・宝手・持地・宝印手・堅固意の六地蔵とする説もある。

《淵辺義博とその居館跡の碑》相模原市中央区淵野辺本町 3-26



義博居館跡は境川根岸橋の河岸段丘にあり、現在川崎市上下水道局の水道中継地で立ち入り禁止となっている。川崎市民のため、相模川や道志川の水を、ここ相模原市、町田市その他市域を通して川崎市まで運んでいるようだ。居館跡の碑横に建立されている謂れの碑には、淵辺義博は南北朝時代に淵野辺村の地頭であった。義博は足利直義、譜代の臣で、史書によると建武2(1335)年、主命によって大塔宮護良親王を殺し、のち駿河国手越河原で主の身代わりとなって討ち死にした。伝承では親王を奥州石巻に逃がし奉ったと記されている。

《八王子千人同心旧家》相模原市中央区淵野辺本町 3-40-22



八王子千人同心は、徳川家康の江戸入府後、武蔵・甲斐国境警備のため、武田氏の遺臣を中心に構成された百人一組で十組、合計千人の集団でした。同心は平時には農耕に従事し、兵農分離の幕藩体制下では特殊な存在でした。小川家は三代彦右衛門が寛政8(1796)年に加入しました。

旧跡ではあるが、現在子孫が居住しているため、立ち入り禁止となっている。同心の勤務場所は八王子の千人町であり、江戸時代中期以降、同心の株は売買されていたのである

うか。小川家のような豪農の旧家や資産家は後年、名誉のため同心株を買って武士となっているようだ。

《皇武神社》 相模原市中央区淵野辺本町 4-20-11



祭神は日本武尊（ヤマトタケルノミコト）。御嶽大権現と称し元和年間（1615~1623）再建の由。延宝年中に武相境川縁字嶽ノ内に遷座し、明治5（1872）年に村内協議の上、字中村嶽之内の現在地に遷座。村社皇武神社と改称。明治5年に神社裏に淵博学舎が設立された。養蚕にまつわる「おきぬさま」伝説がある。（大野地区史跡マップより）

左の写真が「繭守神」の石碑。八王子～横浜を結ぶ街道を「絹の道」と称しているように養蚕が盛んであった。この地区の神社にはお蚕様を祀る神社が多い。また明治の学校設立の場所として寺社に併設する村が多かったようだ。淵野辺村は皇武神社に置いたようだ。

《龍像寺と岡野氏一族の墓》 相模原市中央区東淵野辺 3-25-1

皇武神社に別れを告げて、茶畑や淵辺義博が大蛇を射た場所などと言われているところを過ぎ、新中里橋を渡って、木曾中学校遺跡を見学し、龍像寺（おおよそ中里橋と境橋の間位の場所か？）に至る。龍像寺までの街道の民家の庭には、紅梅が満開で咲いている。



龍像寺の説明板によると、この寺は山号を「淵源山(えんげんざん)」といい、厚木市七沢にある曹洞宗広沢寺の末寺です。

縁起によると歴応年間(1338~1341)、境川に住んでいたという大蛇をこの地の地頭淵辺義博が退治し、3体に分散した蛇体をおのおのの地に葬ってそれぞれ龍頭寺、龍像寺、龍尾寺としたと伝えられています。その後、3寺とも荒廃してしまいましたが、弘治2(1556)年に巨海(こかい)和尚によってこの龍像寺だけ再興されました。寺宝として、この龍骨の一部と義博使用の矢じりと板碑が所蔵されています。また、墓地内には江戸時代にここの地頭であった岡野一族の墓があります。

相模原市 相模原観光協会



龍像寺の岡野氏墓地 相模原市指定史跡

江戸時代の淵野辺村領主、旗本岡野氏一族の墓地です。初代の板部岡融成(いたべおかとおなり)は、はじめ小田原北条氏に仕えましたが、北条氏滅亡後は岡野と姓を改め、豊臣・徳川両氏に仕えました。

その後、次男房次の子英明(ひであきら)が淵野辺村の地頭となり、寛文3(1663)年、淵野辺村は本家貞明(さだあきら)・分家友明(ともあきら)に分知され、幕末まで続きました。

相模原市教育委員会

《鹿島神社》相模原市南区古淵 1-34-23



鹿島神社の場所は、境川の向いに町田市境川団地の一群があり、相模原市の南区となる。神社の創建は不明であるが、新田義貞が鎌倉攻めのおり祈願のために建立した言い伝えがあり、また淵辺義博の子、義喬(よしたか)が建立した言い伝えもある。境内の大ケヤキは千年を経ていると言われ、根元にある石は「カナメ石」と呼ばれ境川のほとりにあった「田の神」ともいわれている。

《大日堂》相模原市南区古淵 1-34-15



南北朝時代にここで合戦があり、その戦死者を供養するために建立されたと言われている。この合戦とは北条時行と足利直義による建武 2(1335)年の「井出の沢合戦」のことと考えられる。「井出の沢」とはお堂の石側を流れていた小沢のことである。

一方、東京都指定旧跡として町田市本町田の菅原神社、市営グラウンド、旭町体育館一帯が「井出の沢古戦場」と伝えられている。何方が井出の沢古戦場なので有ろうか？

大日堂に別れを告げ、境橋を渡って、町田側の遊歩道を歩く。森野橋の下を潜ると町田市役所が見えてくる。市役所と JR 横浜線を挟んだあたり、蛇行した河川を改修した蛇行部分が旧河川跡として公園になっている。横浜線の踏切を渡り、町田駅前通りを横断して妙延寺(町田市森野 2-9-6)を参拝する。



町田市役所(町田市森野 2丁目 2-22)

10 回に分割した町田の境界を巡る旅もゴールに近づいた。境界線の距離を測ると凡そ 80km の様であるが、境界線の内外(町田市、多摩市、相模原市)にある、寺社仏閣、名所旧跡、樹木などの植物などを観察して歩くため、総歩行距離は 1.5 倍の 120km は超えていたのではなかろうか。山坂の多い横浜市、川崎市、多摩市、八王子市の境、境川沿いの平らな相模原市の境と変化富んだ境界の旅であった。

【文責：専務理事】